

# DENKA Rally Manager

## 取扱説明書

この度は DENKA Rally Manager をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
安全に正しくご利用いただく為、取付、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、  
正しくお使い下さい。

お読みになった後はいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をご確認のうえ、大切に保管して下さい。

# 目 次

■取付について	2
●作業上の注意	2
●同梱物の確認	2
●取り付け方	2
●結線のしかた	3
■製品特長	4
■外観と各部名称	4
■表示内容簡易早見表	5
■各モード電源 ON 時の初期値について	5
■アベレージラリーモード	6
●表示切替について	6
●ファンクションについて	7
●チェック処理について	8
●パスコン処理について	9
●OD(オドメーターチェックポイント)処理について	10
●SS(スペシャルステージ)処理について	11
●RC(レスコン)処理について	12
●MAP(マップクリア)処理について	12
■国内 TC ラリーモード	13
●表示切替について	13
●ファンクションについて	14
●TC(タイムコントロール)処理について	15
●SS(スペシャルステージ)処理について	16
●OD(オドメーターチェックポイント)処理について	16
■国際 TC ラリーモード	17
●表示切替について	17
●ファンクションについて	18
●TC(タイムコントロール)処理について	19
●SS(スペシャルステージ)処理について	20
●OD(オドメーターチェックポイント)処理について	20
■用語集	21
■TC ラリー用語集	23
■おまけー操作ミスをした場合	24
■保証とアフターサービス	25

## ■取付について

取付作業前にこの項をよくお読みの上、正しく取り付けて下さい。

### ●作業上の注意

- ・配線作業中はバッテリーのマイナス側ケーブルを外す  
ショートによる感電やケガの原因になります。
- ・運転の妨げになる場所や同乗者に危険を及ぼす場所に設置をしない
- ・本機の通風穴をふさいだり、ヒーターの熱風が直接当たる所に設置をしない  
本機に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。
- ・接続コード類の配線は高熱部をさける  
皮膜が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線はご注意ください。
- ・他の機器の電源を取る事は絶対にしない  
電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因になります。
- ・結線終了後はコード類をしっかりとまとめ、運転の妨げにならないよう固定する

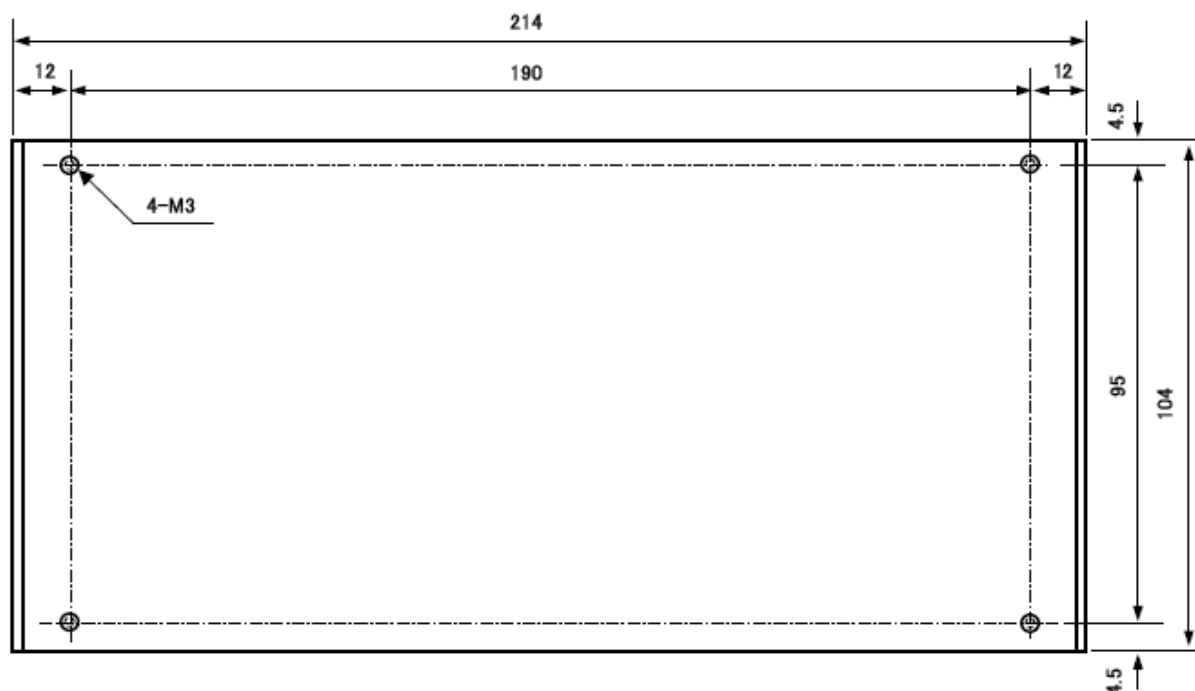
### ●同梱物の確認

1. DENKA Rally Manager 本体 ..... 1個
2. 取扱説明書(本書) ..... 1部
3. 保証書 ..... 1部
4. 延長用電源ケーブル(150cm) ..... 1本
5. パネル取付用ネジ ..... 4本

### ●取り付け方

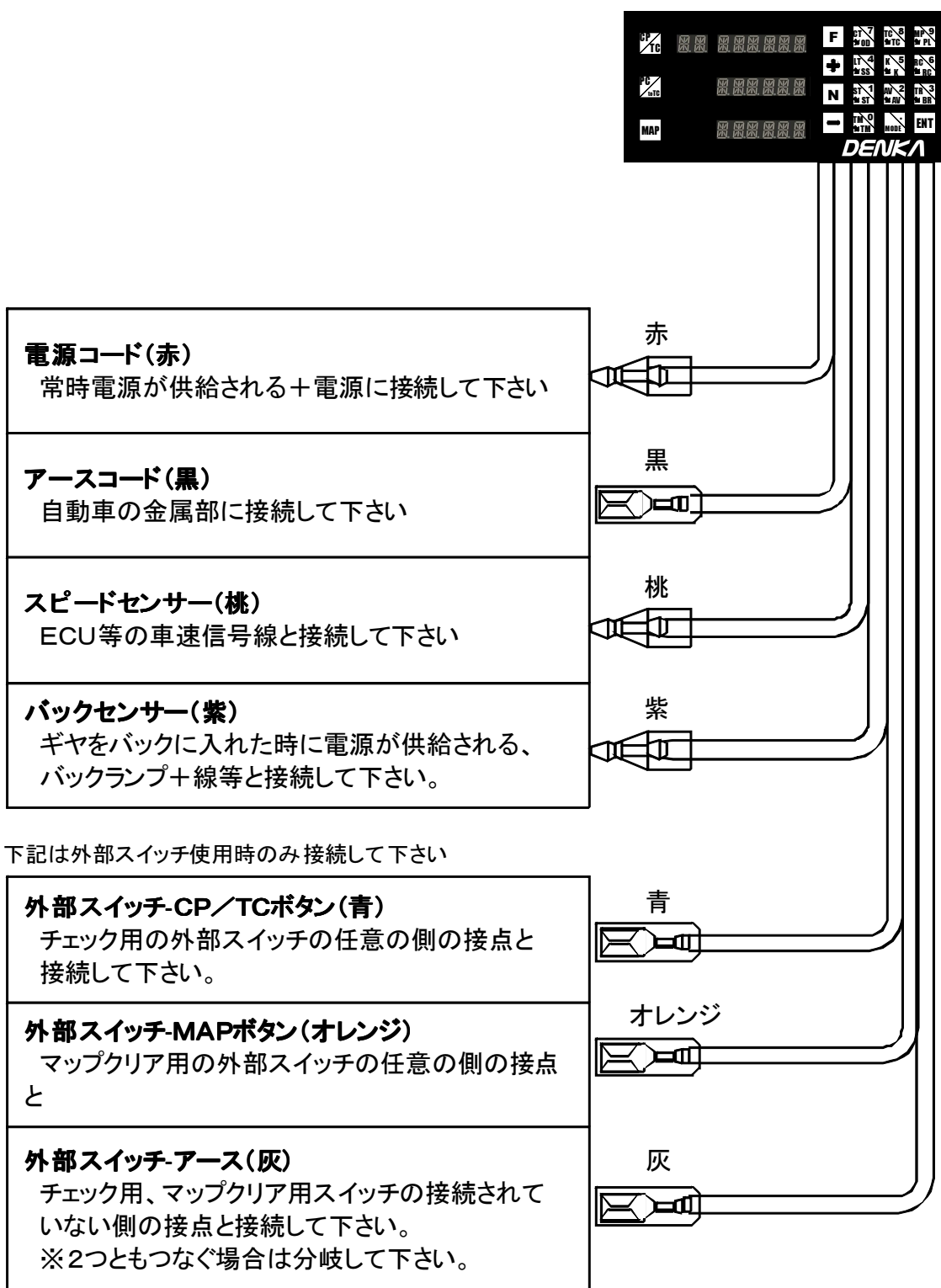
本体裏面に取付用のネジ穴(M3)が4箇所開いております。この穴を使用し、ナビパネルに固定して下さい。

＜寸法＞取付穴の寸法になります。DENKA 本体裏側から見た図



## ●結線のしかた

あらかじめ自動車ディーラー等で「車種別・車速信号接続要領書」により、お客様の車の ECU の位置と車速信号の接続位置をご確認ください。



## ■製品特長

### ●3つのモードを搭載

アベレージラリーモード、国内 TC ラリーモード、国際 TC ラリーモードを搭載。

日本国内で行われているラリー全てのルールに対応しております。

### ●簡単な接続方法

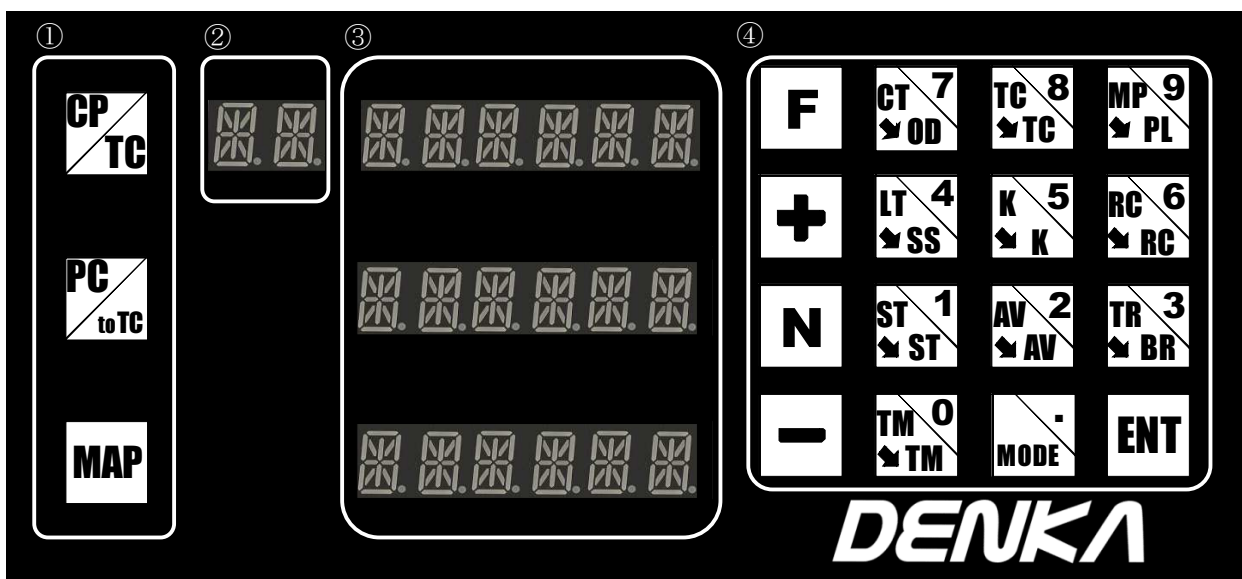
車速信号の接続にコンバーターが不要です。

カーナビ感覚で取付が可能です。

### ●光るボタン採用

ボタン自体が LED により発光し、ナイトラリーでも確実な操作が行えます。

## ■外観と各部名称



番号	名称	説明
①	CP/PC/MAP ボタン	CP・TC 処理や PC 処理、マップクリアに使用する。
②	インジケーター	現在の表示内容等を表示する。
③	表示部	上から上段、中段、下段表示部。ラリーの情報を表示する
④	入力ボタン	各種設定や入力等に使用する。

※電源は本体上面右側にあります。

## ■表示内容簡易早見表

		上段表示部	中段表示部	下段表示部
アベレージラリーモード	通常時	インジケータに対応	ファイナルタイム	マップ距離
	PC 処理時	正解時間	指示速度入力	マップ距離
TC ラリーモード共通	通常時	インジケータに対応	ファイナルタイム	マップ距離
	TC 入力時	スタート時刻	ターゲットタイム入力	次 TC までの距離入力
SS モード共通	SS スタート前	現在時刻	スタートまでの残り時間	マップ距離
	SS スタート後	現在時刻	SS 経過時間	マップ距離

※1:ファイナルタイムは(ー)〇〇分〇〇秒〇の形で表示されます。100 分以上の場合 100 分の位は省略表示されます。

## ■各モード電源 ON 時の初期値について

	アベレージラリーモード	国内 TC ラリーモード	国際 TC ラリーモード
現在時刻	00:00:00 からのカウントアップ	00:00:00 からのカウントアップ	00:00:00 からのカウントアップ
スタート時刻 ※1	00:00:00	00:00:00	00:00:00
アベレージ	0.0km/h	0.0km/h(自動計算)	0.0km/h(自動計算)
輝度	4(最大)	4(最大)	4(最大)
補正係数	1.00000	1.00000	1.00000
レスコン	0 分 00 秒	0 分 00 秒	0 分 00 秒
ターゲットタイム	ー	0 分	0 分
次 TC までの距離	ー	0m	0m
トリップ	停止(N)	停止(N)	停止(N)
パルス設定	4 パルス	4 パルス	4 パルス

※1:初期状態では表示上 00:00:00 になっていますが、実際にはスタート時刻の入力を行わないとファイナルタイムの計算は行われません。












## ■アベレージラリーモード

アベレージラリーで使用するモードです。電源投入すると通常このモードで起動します。

### ●表示切替について


















各ボタンを押す事で表示を切り替える事が出来ます。

基本的に上段表示部の表示内容が切り替わります。

ボタン	インジケータ：表示内容	備考
	TM:現在時刻	0時0分0秒～23時59分59秒までの24時間表示
	ST:スタート時刻	0時0分0秒～23時59分59秒までの24時間表示
	AV:アベレージ	0.0km/h～199.9km/h
	TR:トリップ	前回チェック処理、もしくはPC処理地点からの距離。 単位:メートル
	LT:前回トリップ	前々回CP処理、もしくはPC処理地点から前回CP、PC処理地点までの距離。単位:メートル
	K:補正係数	小数点以下5桁までの表示
	RC:レスコン	レスコン時間の表示。
	CT:チェック間トリップ	前回CP処理からの距離。単位:メートル
	—	アベレージモードでは表示されません。
	MP:前回マップ	前々回MAPクリア地点から前回MAPクリア地点までの距離。単位:メートル
	現在の起動モード表示	中段:『AVE』 下段:『MODE』

●ファンクションについて

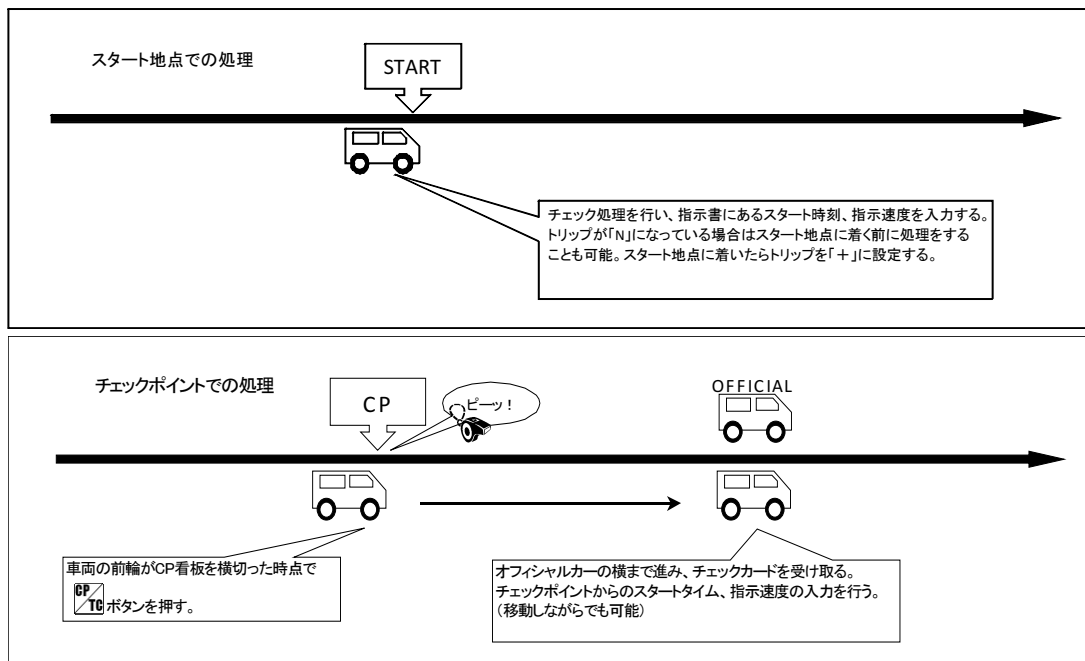
**F** ボタンを押す事でファンクションモード(インジケータ: F)に切り替わります。この状態で各ボタンを押す事で各種設定を行う事が出来ます。

ボタン	インジケータ: 設定内容	備考
	TM: 現在時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間で設定
	ST: スタート時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間で設定
	AV: アベレージ	0.0km/h～199.9km/h の間で設定
	BR: 輝度	 ボタン  ボタンを使用し、1～4 の間で設定
	SS: SS スタートタイム	SS モードに入ります。SS のスタート時間を 10 キーで設定
	K: 補正係数	小数点以下 5 桁までの設定 入力の際、小数点は使用しません
	RC: レスコン	レスコンを設定。  ボタン  ボタンを使用で入力値のプラスとマイナスが切り替わります。処理をするごとに積算され、CP 処理でクリアされます
	OD: オド処理	OD 処理を行います。主催者距離を入力して下さい。 スタート CP 処理後 1 回のみ処理可能です。
	—	アベレージモードでは使用しません。
	PL: パルス設定	車体のパルス設定を行います。使用する車に合わせて 2、4、8 パルスで設定して下さい。
	トリップ正進	各距離が加算されていきます。ギアがバックの場合は減算されていきます。
	トリップ逆進	各距離が減算されていきます。ギアがバックの場合は加算されていきます。
	トリップ停止	車両が動いても距離の加算、減算はされません。




## ●チェック処理について

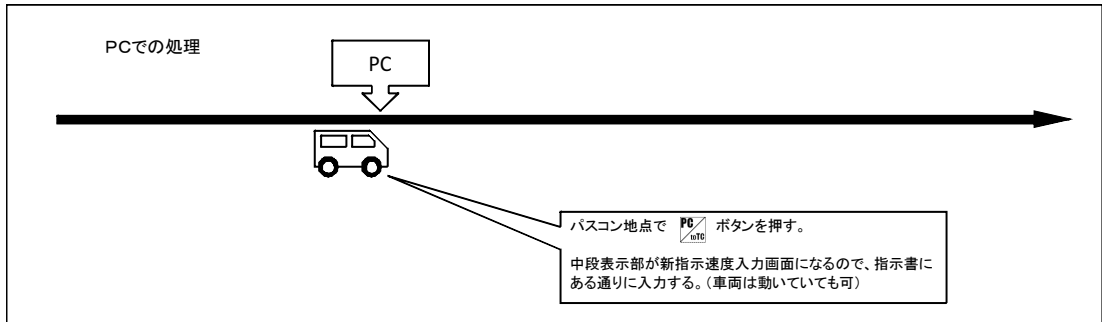
**CP** **TC** ボタンを押すとその地点でチェック処理に入ります。チェック時刻、ファイナルタイムを確認後 **ENT** ボタンを押して下さい。スタートタイム入力画面になります。キャンセルしたい場合は **ENT** ボタンを押す前に **F** ボタンを押して下さい。

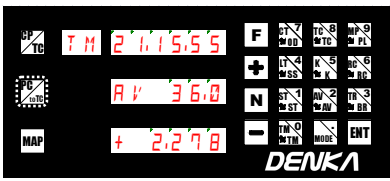

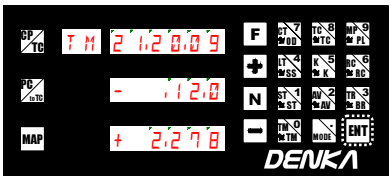


	<p>1. <b>CP</b> <b>TC</b> ボタンを押す インジケーターが「CP」に変わり、上段、中段表示部が押した時点の値で固定され点減表示に切り替わります。</p> <p>※この時点で <b>F</b> ボタンを押すとキャンセル出来ます。</p>
	<p>2. <b>ENT</b> ボタンを押す インジケーターが「ST」に変わりスタート時刻の入力画面になります。スタート時刻を入力してください。</p>
	<p>3. <b>ENT</b> ボタンを押す インジケーターが「AV」に変わり、指示速度の入力画面になります。指示速度を入力して下さい</p>
	<p>4. <b>ENT</b> ボタンを押す インジケーターが「TM」に変わり、現在時刻の表示に戻ります。チェック処理はこれで以上です。</p>

## ●パソコン処理について

 ボタンを押すとその地点でパソコン処理を行います。上段表示部がその地点の正解通過時刻、中段表示部が新指示速度入力画面になります。キャンセルしたい場合は **F** ボタンを押して下さい。



	<p>1.  ボタンを押す</p> <p>上段表示部が正解通過時刻表示になり、中段表示部が現在のアベレージに切り替わります。新アベレージを入力してください。</p> <p>※この時点で <b>F</b> ボタンを押すとキャンセル出来ます。</p>
	<p>2. <b>ENT</b> ボタンを押す</p> <p>上段表示部が現在時刻表示に、中段表示部がファイナルタイム表示に戻ります。スタート時刻はパソコン処理地点の正解通過時刻に変更されています。</p>

## ●OD(オドメーターチェックポイント)処理について

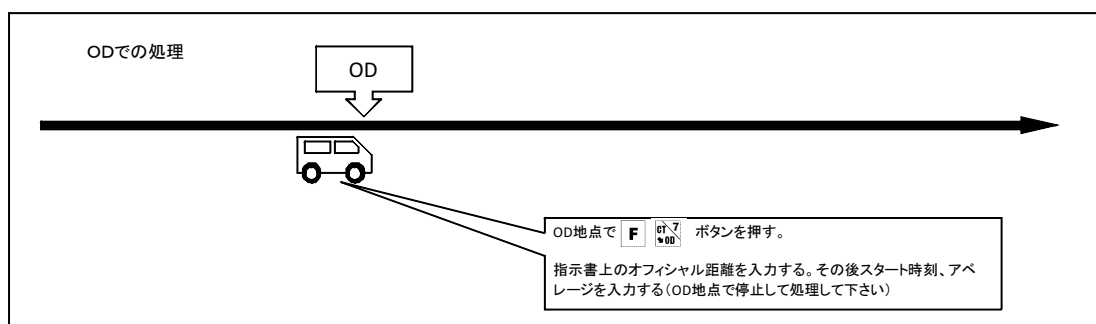
**F** ⇒ **OD** と押す事でOD 処理を行います。OD 地点に車両の前輪を停止させた状態で行って下さい。上段表示部に指示書にあるオフィシャルの距離を入力して下さい。キャンセルしたい場合は **F** ボタンを押して下さい。

距離の入力が終わると自動的に補正係数が計算されます。DENKA での補正係数の計算式は以下の通りです。

$$\text{自車距離} \div \text{オフィシャル距離} = \text{補正係数}$$

その後スタート時刻、アベレージを入力して完了になります。

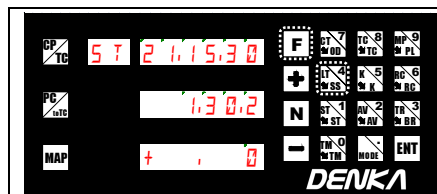
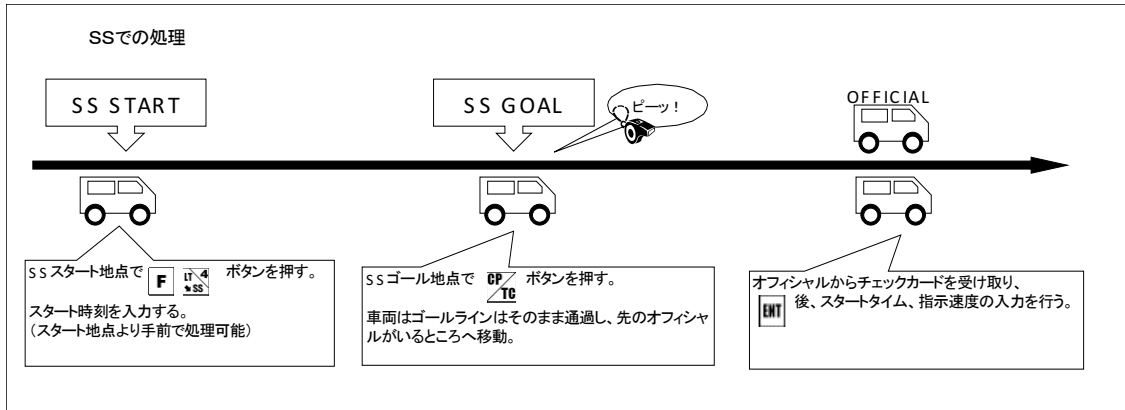
なお、OD 処理はスタートの CP 処理後に 1 回しかできません。



	<p>1. <b>F</b> <b>OD</b> ボタンを押す インジケーターが「OD」に変わり、上段表示部がオフィシャル距離の入力画面に変わります。初期値は前回チェック地点からの距離になっています。オフィシャル距離を入力してください(メートル単位での入力で小数点は使用しません) ※この時点で <b>F</b> ボタンを押すとキャンセル出来ます。</p>
	<p>2. <b>ENT</b> ボタンを押す インジケーターが「ST」に変わりスタート時刻の入力画面になります。スタート時刻を入力してください。</p>
	<p>3. <b>ENT</b> ボタンを押す インジケーターが「AV」に変わり、指示速度の入力画面になります。指示速度を入力して下さい</p>
	<p>4. <b>ENT</b> ボタンを押す インジケーターが「TM」に変わり、現在時刻の表示に戻ります。オド処理はこれで以上です。</p>

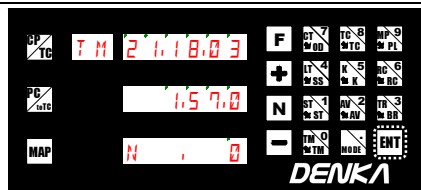
## ●SS(スペシャルステージ)処理について

**F** ⇒ **IT-4** **SS** と押す事で SS モードになります。SS スタート時刻を入力して下さい。**ENT** 後トリップはスタート時刻まで「N」になります。スタート時刻を過ぎると「+」に自動的に切り替わります。ゴール地点では **CP** **TC** ボタンを押して下さい。



1. **F** **IT-4** **SS** ボタンを押す  
インジケータが「ST」に変わり、上段表示部がスタート時刻の入力画面に変わります。SS スタート時刻を入力して下さい。

※この時点で **F** ボタンを押すとキャンセル出来ます。



2. **ENT** ボタンを押す  
インジケータが「TM」に変わり、現在時刻の表示に戻ります。中段表示はスタート時刻までのカウントダウンになります。また、スタート時刻まではトリップが「N」になります。

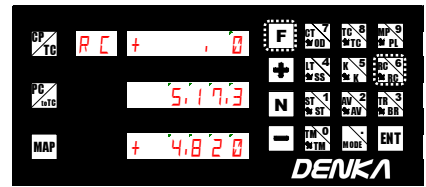
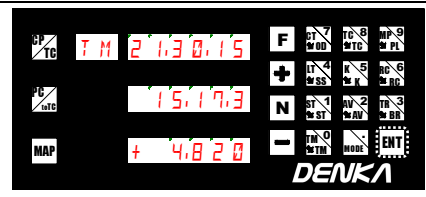


4. **CP** **TC** ボタンを押す  
インジケータが「CP」に変わり、上段表示部がゴールした時間、中段表示部が SS の所要時間になります。

※確認後、通常のチェック処理を行う事でアベレージ走行モードに戻ります。

## ●RC(レスコン)処理について


**F** ⇒ **RC** と押す事でレスコン時間を入力出来ます。「〇〇〇分:〇〇秒」で入力して下さい。**+** ボタン **-** ボタンを使用して入力値のプラスとマイナスが切り替わります。処理をするごとに積算され、CP 処理でクリアされます

	<p>1. <b>F</b> <b>SS</b> ボタンを押す インジケーターが「RC」に変わり、上段表示部がレスコン時間の入力画面に変わります。〇〇〇分〇〇秒で入力して下さい。</p> <p>※この時点で <b>F</b> ボタンを押すとキャンセル出来ます。</p>
	<p>2. <b>ENT</b> ボタンを押す インジケーターが「TM」に変わり、現在時刻の表示に戻ります。</p>

## ●MAP(マップクリア)処理について

**MAP** を押すとマップをクリアします。1 秒後に表示が次のマップ距離になります。MAP 処理は **MAP** を間違えて押してもキャンセルできません。あらかじめください。

## ■国内 TC ラリーモードについて

国内 TC ラリールールで行われるラリーで使用するモードです。 ボタンを押しながら電源投入する事で国内 TC モードで起動します。

### ●表示切替について

各ボタンを押す事で表示を切り替える事が出来ます。

基本的に上段表示部の表示内容が切り替わります。


















ボタン	インジケータ：表示内容	備考
	TM:現在時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間表示
	ST:スタート時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間表示
	AV:アベレージ	0.0km/h～199.9km/h ※1
	TR:トリップ	前回 TC 処理からの距離。 単位:メートル ※2
	LT:前回トリップ	前々回 TC 処理地点から前回 TC 処理地点までの距離。 単位:メートル
	K:補正係数	小数点以下 5 桁までの表示
	RC:レスコン	
	CT:チェック間トリップ	前回 TC 処理からの距離。 単位:メートル ※2
	TC:TC 設定値	現在の TC 設定値が表示されます。 上段:スタート時刻 中段:ターゲットタイム 下段:ターゲット距離
	MP:前回マップ	前々回 MAP クリア地点から前回 MAP クリア地点までの距離。単位:メートル
	現在の起動モード表示	中段:『JPTC』 下段:『MODE』
	TC までのカウントダウン	中段:設定時間までのカウントダウン 下段:TC までの距離のカウントダウン ※押している間のみ表示

※1 表示アベレージは TC から TC までのアベレージになります。

※2 TR と CT の距離は TC モードでは同じになります。

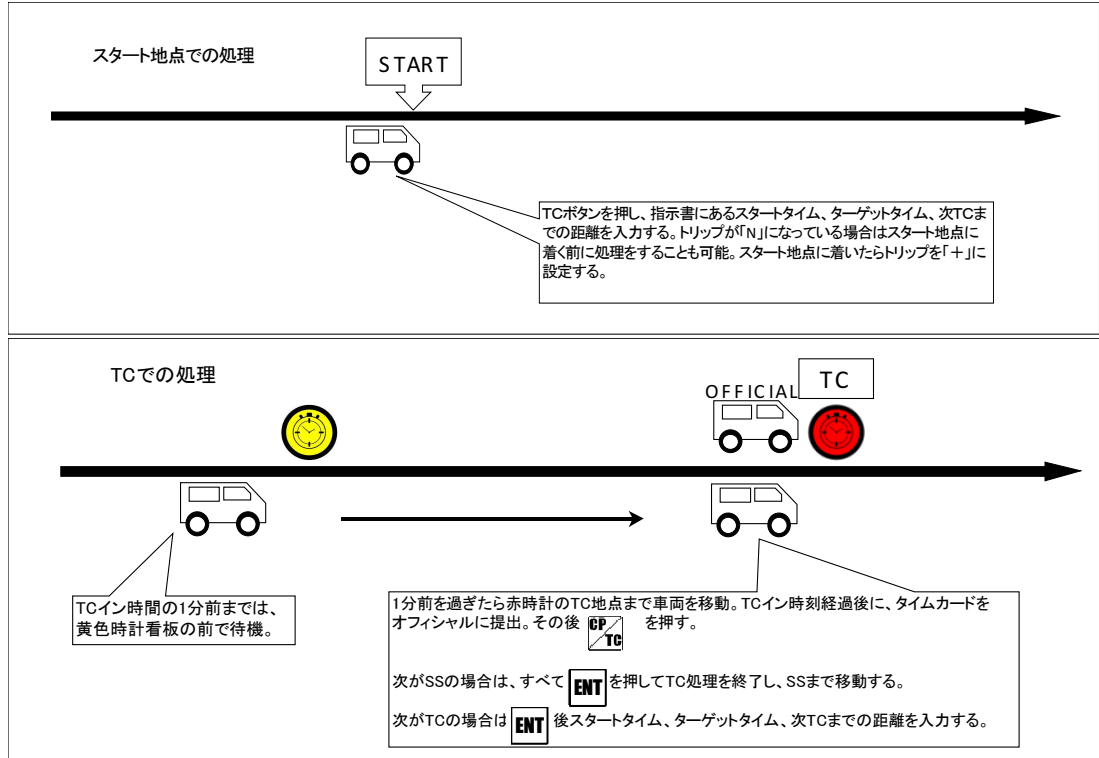
●ファンクションについて

**F** ボタンを押す事でファンクションモード(インジケータ: F)に切り替わります。この状態で各ボタンを押す事で各種設定を行う事が出来ます。

ボタン	インジケータ: 設定内容	備考
	TM: 現在時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間で設定
	ST: スタート時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間で設定
	—	TC モードでは受け付けません。
	BR: 輝度	 ボタン  ボタンを使用し、1～4 の間で設定
	SS: SS スタートタイム	SS モードに入ります。SS のスタート時間を 10 キーで設定
	K: 補正係数	小数点以下 5 桁までの設定 入力の際は、小数点は使用しません
	RC: レスコン	レスコンを設定。  ボタン  ボタンを使用で入力値のプラスとマイナスが切り替わります。処理をするごとに積算され、TC 処理でクリアされます
	OD: オド処理	OD 処理を行います。主催者距離を入力して下さい。 TC モードではスタート時刻、アベレージの入力はいりません。
	TC: TC 設定	ターゲットタイム、ターゲット距離の設定が出来ます。
	PL: パルス設定	車体のパルス設定を行います。使用する車に合わせて 2、4、8 パルスで設定して下さい。
	トリップ正進	各距離が加算されていきます。ギアがバックの場合は減算されていきます。
	トリップ逆進	各距離が減算されていきます。ギアがバックの場合は加算されていきます。
	トリップ停止	車両が動いても距離の加算、減算はされません。

## ●TC(タイムコントロール)処理について

**CP/TC** ボタンを押すとその地点でTC処理に入ります。**ENT** ボタンを押して下さい。スタートタイム入力画面になります。キャンセルしたい場合は**ENT** ボタンを押す前に**F** ボタンを押して下さい。

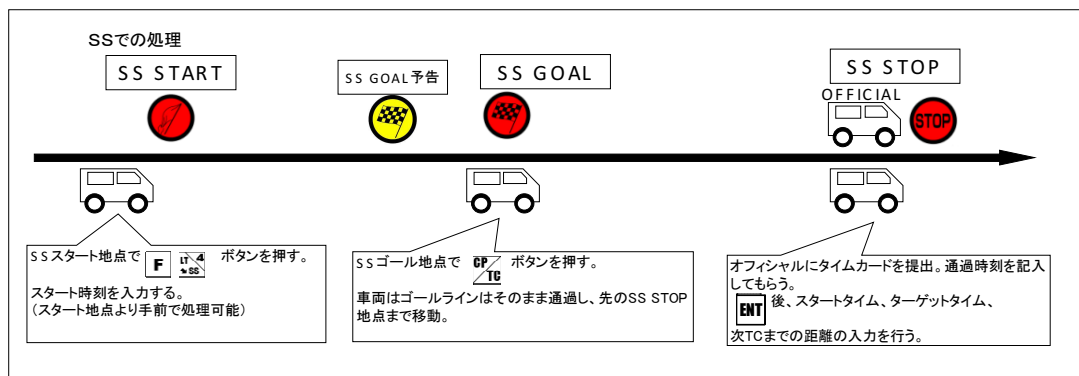


	<p>1. <b>CP/TC</b> ボタンを押す</p> <p>インジケータが「CP」に変わり、上段、中段表示部が押した時点の値で固定され点滅表示に切り替わります。</p> <p>※この時点で <b>F</b> ボタンを押すとキャンセル出来ます。</p>
	<p>2. <b>ENT</b> ボタンを押す</p> <p>インジケータが「ST」に変わりスタート時刻の入力画面になります。スタート時刻を入力してください。</p>
	<p>3. <b>ENT</b> ボタンを押す</p> <p>インジケータが「TM」に変わり、現在時刻表示になります。中段表示部が「TM」と表示されます。分単位でターゲットタイムを入力して下さい。</p>
	<p>4. <b>ENT</b> ボタンを押す</p> <p>下段表示部に入力が移動します。次 TC までの距離をメートル単位で入力して下さい。</p>



## ●SS(スペシャルステージ)処理について

**F** ⇒ **IT-4** と押す事で SS モードになります。SS スタート時刻を入力して下さい。**ENT** 後トリップはスタート時刻まで「N」になります。スタート時刻を過ぎると「+」に自動的に切り替わります。ゴール地点では **CP/TC** ボタンを押して下さい。SS ゴール後のスタート時刻は、ゴールタイムの次分 00 秒に設定されます。




	<p>1. <b>F IT-4</b> ボタンを押す インジケーターが「ST」になり、上段表示部がスタート時刻の入力画面に変わります。SS スタート時刻を入力して下さい。</p> <p>※この時点で <b>F</b> ボタンを押すとキャンセル出来ます。</p>
	<p>2. <b>ENT</b> ボタンを押す インジケーターが「TM」になり、現在時刻の表示に戻ります。中段表示はスタート時刻までのカウントダウンになります。また、スタート時刻まではトリップが「N」になります。</p>
	<p>4. <b>CP/TC</b> ボタンを押す インジケーターが「CP」になり、上段表示部がゴールした時間、中段表示部が SS の所要時間になります。</p> <p>※確認後、通常の TC 処理を行う事で通常の TC 走行モードにもどります。</p>

## ●OD(オドメーターチェックポイント)処理について

**F** ⇒ **GT-7** と押す事で OD 処理を行います。OD 地点に車両の前輪を停止させた状態で行って下さい。上段表示部に指示書にあるオフィシャルの距離を入力して下さい。キャンセルしたい場合は **F** ボタンを押して下さい。距離の入力が終わると自動的に補正係数が計算されます。TC モードでは、スタートタイムとアベレージの入力はありません。

なお、OD 処理はスタートの TC 処理後に 1 回しかできません。






## ■国際 TC ラリーモードについて

国際 TC ラリールールで行われるラリーで使用するモードです。 ボタンを押しながら電源投入する事で国際 TC モードで起動します。

## ●表示切替について

各ボタンを押す事で表示を切り替える事が出来ます。

基本的に上段表示部の表示内容が切り替わります。


















ボタン	インジケータ：表示内容	備考
	TM: 現在時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間表示
	ST: スタート時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間表示
	AV: アベレージ	0.0km/h～199.9km/h ※1
	TR: トリップ	前回 TC 処理からの距離。 単位: メートル ※2
	LT: 前回トリップ	前々回 TC 処理地点から前回 TC 処理地点までの距離。 単位: メートル
	K: 補正係数	小数点以下 5 桁までの表示
	RC: レスコン	
	CT: チェック間トリップ	前回 TC 処理からの距離。 単位: メートル ※2
	TC: TC 設定値	現在の TC 設定値が表示されます。 上段: スタート時刻 中段: ターゲットタイム 下段: ターゲット距離
	MP: 前回マップ	前々回 MAP クリア地点から前回 MAP クリア地点までの距離。単位: メートル
	現在の起動モード表示	中段: 『WRTC』 下段: 『MODE』
	TC までのカウントダウン	中段: 設定時間までのカウントダウン 下段: TC までの距離のカウントダウン ※押している間のみ表示

※1 表示アベレージは TC から TC までのアベレージになります。ただし、SS 後の場合は SS スタート地点から TC までのアベレージになります。

※2 TR と CT の距離は TC モードでは同じになります。

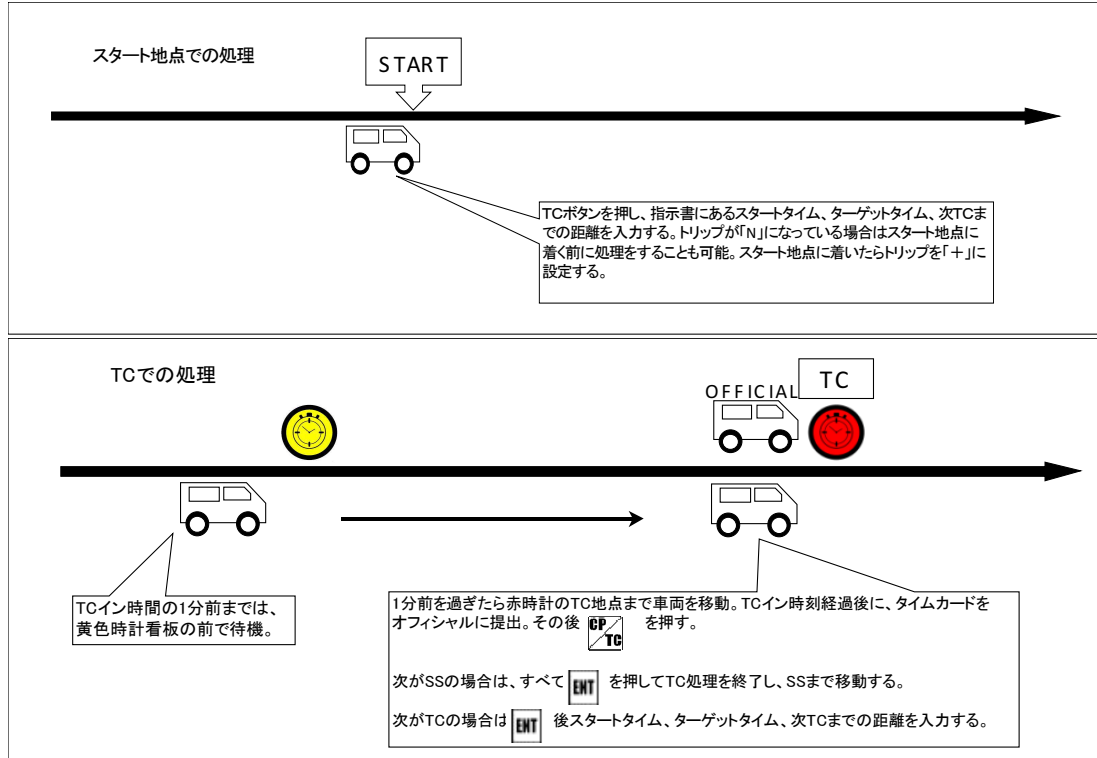
●ファンクションについて

**F** ボタンを押す事でファンクションモード(インジケータ: F)に切り替わります。この状態で各ボタンを押す事で各種設定を行う事が出来ます。

ボタン	インジケータ: 設定内容	備考
	TM: 現在時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間で設定
	ST: スタート時刻	0 時 0 分 0 秒～23 時 59 分 59 秒までの 24 時間で設定
	—	TC モードでは受け付けません。
	BR: 輝度	 ボタン  ボタンを使用し、1～4 の間で設定
	SS: SS スタートタイム	SS モードに入ります。SS のスタート時間を 10 キーで設定
	K: 補正係数	小数点以下 5 桁までの設定 入力の際、小数点は使用しません
	RC: レスコン	レスコンを設定。  ボタン  ボタンを使用で入力値のプラスとマイナスが切り替わります。処理をするごとに積算され、TC 処理でクリアされます
	OD: オド処理	OD 処理を行います。主催者距離を入力して下さい。 TC モードではスタート時刻、アベレージの入力はいりません。
	TC: TC 設定	ターゲットタイム、ターゲット距離の設定が出来ます。
	PL: パルス設定	車体のパルス設定を行います。使用する車に合わせて 2、4、8 パルスで設定して下さい。
	トリップ正進	各距離が加算されていきます。ギアがバックの場合は減算されていきます。
	トリップ逆進	各距離が減算されていきます。ギアがバックの場合は加算されていきます。
	トリップ停止	車両が動いても距離の加算、減算はされません。

## ●TC(タイムコントロール)処理について

**CP/TC** ボタンを押すとその地点でTC処理に入ります。**ENT** ボタンを押して下さい。スタートタイム入力画面になります。キャンセルしたい場合は**ENT** ボタンを押す前に**F** ボタンを押して下さい。

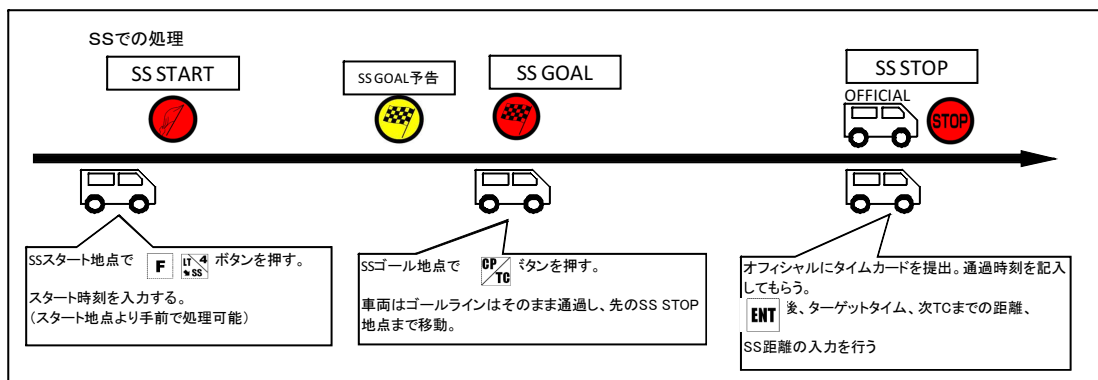


	<p>1. <b>CP/TC</b> ボタンを押す</p> <p>インジケータが「CP」に変わり、上段、中段表示部が押した時点の値で固定され点滅表示に切り替わります。</p> <p>※この時点で<b>F</b> ボタンを押すとキャンセル出来ます。</p>
	<p>2. <b>ENT</b> ボタンを押す</p> <p>インジケータが「ST」に変わりスタート時刻の入力画面になります。スタート時刻を入力してください。</p>
	<p>3. <b>ENT</b> ボタンを押す</p> <p>インジケータが「TM」に変わり、現在時刻表示になります。中段表示部が「TM」と表示されます。分単位でターゲットタイムを入力して下さい。</p>
	<p>4. <b>ENT</b> ボタンを押す</p> <p>下段表示部に入力が移動します。次 TC までの距離をメートル単位で入力して下さい。</p>

## ●SS(スペシャルステージ)処理について

**[F]** ⇒ **[LT/4]** と押す事で SS モードになります。SS スタート時刻を入力して下さい。**[ENT]** 後トリップはスタート時刻まで「N」になります。スタート時刻を過ぎると「+」に自動的に切り替わります。ゴール地点では **[CP/TC]** ボタンを押して下さい。

その後、ターゲットタイム、次 TC までの距離を入力してください。スタートタイムは SS のスタートタイムが設定されています。



	<p>1. <b>[F]</b> <b>[LT/4]</b> ボタンを押す インジケーターが「ST」に変わり、上段表示部がスタート時刻の入力画面に変わります。SS スタート時刻を入力してください。</p> <p>※この時点で <b>[F]</b> ボタンを押すとキャンセル出来ます。</p>
	<p>2. <b>[ENT]</b> ボタンを押す インジケーターが「TM」に変わり、現在時刻の表示に戻ります。中段表示はスタート時刻までのカウントダウンになります。また、スタート時刻まではトリップが「N」になります。</p>
	<p>4. <b>[CP/TC]</b> ボタンを押す インジケーターが「CP」に変わり、上段表示部がゴールした時間、中段表示部が SS の所要時間になります。</p> <p>※確認後、ターゲットタイム、次 TC までの距離、SS 距離を入力する事で TC 走行モードに戻ります。</p>

## ●OD(オドメーターチェックポイント)処理について

**[F]** ⇒ **[GT/7]** と押す事で OD 処理を行います。OD 地点に車両の前輪を停止させた状態で行って下さい。上段表示部に指示書にあるオフィシャルの距離を入力して下さい。キャンセルした場合は **[F]** ボタンを押して下さい。距離の入力が終わると自動的に補正係数が計算されます。TC モードでは、スタートタイムとアベレージの入力はありません。

なお、OD 処理はスタートの TC 処理後に 1 回しかできません。

## ■用語集

### アベレージラリー

スタートからゴールまで、複数のCP(チェックポイント)が設けられ、各CP間の所要時間があらかじめ主催者で設定される。

その所要時間通りに正確に走行できるかどうかを競うラリーの競技形式が、アベレージラリーである。ある地点からの平均速度(アベレージ、アベ)が指示されて走行することが多く、この名前がついている。

### OD(オド)

#### OMCP(オドメーターチェックポイント、オドメーターコントロールポイント)

オフィシャル(主催者)が計測した距離を基準として、エントラント(参加者)の車の距離との誤差の割合を出すための地点のこと。

自転車とオフィシャルの車は、同じ区間を走行しても、トリップの数字＝距離はぴったり同じにはならない。駆動方式やタイヤサイズの違いなど機械的な要因により、距離にズレが生じる。

そこで距離がどれだけの割合でズレているかを計測して比較する必要がある。

誤差の割合のことを補正係数と言い、略称Kであらわされる。

計算式: 補正係数(K) = 自転車距離 ÷ オフィシャル距離

DENKA の場合は小数点以下 5 桁までを有効としています。

例: オフィシャル距離が 10.000km で、自転車が 9.500km の場合

$9.5 \div 10 = 0.95000$

オフィシャル距離が 9.500km で、自転車が 10.000km の場合

$10 \div 9.5 = 1.05263$

### CP(チェックポイント、チェック)

エントラントの車の通過時刻を計測する地点。国内のラリーでは、CPの地点は公表されない場合が多く、そのCPに到着するまでの平均速度や所要時間が指示され、原則としてそのCPに、主催者の設定した時間通りに正確に到着できるかどうかを競う。

何時何分何秒に通過したかを記入された紙(チェックカード)がオフィシャルから渡される。1秒早くても遅くても1点の減点となる。

またCPまでにどれだけ早く着くかを競う区間(SS)が設けられる場合もある。

到着時間の正確さを競う場合、CPを発見後に停車して時間調整をすることは原則として許されない。

補足: オープンCPと申告CP

オープンCP: CP地点直前まで行って、時間調整をしてもよいCP

申告CP: 実際の走行時間とは関係なく、CP地点で自分が何時何分何秒に到着したかをオフィシャルに申告するCP

### PC(パスコン)

指示速度(平均速度)の変更地点。

### Ave(アベ)

指示速度(平均速度)のこと。

### 時間走行

ある地点からある地点まで、指示速度(アベ)ではなく、〇分と所要時間で指示されること。

所要時間の指示だけでは、実際に移動する時にどのくらいのスピードで走ればよいかわからないので、距離を時間で割り、平均速度を算出する必要がある。

### コマ図

交差点など曲がる地点を、道路の形状(十字路など)と目標物を平面的に図示した地図。そこまでの距離も表示される。

### ノーチェック区間

CPが出てこないことを示す区間。ノーチェックの終了地点が、CPイン前の時間調整を行う場所となり、競技車のゼッケン順の入れ替えもそこで行う。

ノーチェック区間はできるだけ速やかにその区間終了地点まで移動すること。

## **ファイナル**

ラリーコンピューターに表示される、時間の遅れ／進み。走行中の速度による所要時間が、指示速度(アベ)に対して何秒進んでいるか(遅れているか)を刻一刻と、リアルタイムで表示される。

主催者の設定通りの距離で走行している場合、ファイナルが 0.0 でCPインすれば、ラリーコンピューター上では主催者の設定通りの時間で走ったこととなる。

## **SS(エスエス)**

スペシャルステージの略称で、早く到着したものが勝ちであるわかりやすい区間。所要時間(かかった秒数)がそのまま減点となる。

## **RC(レストコントロール)**

主催者より特に時間調整で待機を求められる地点で、分単位で指示される。略称レスコン。

## **コントロールシート**

CPで渡されるチェックカードを貼り、各CP間の所要時間を算出し記入して、主催者に提出する用紙のこと。

主催者から配布される正解表(正解所要時間が書かれた表)との誤差が1秒につき1点の減点となる。

またSS区間については、かかった秒数がそのまま減点となる。

## ■TC ラリー用語集

### TCラリー

TCからの時間走行(リエゾン)とスペシャルステージ(SS)で構成され、SSの合計タイムが少ないものが勝つという、わかりやすいラリーです。

### TC(タイムコントロール)

CPラリーのCPと同じく、エントラントが到着した時刻を計る場所ですが、計時方法が異なります。

TCからTCへは、時間走行で分計時です。コマ図(ROADBOOK)にTCまでの所要時間(ターゲットタイム)とTCまでの距離、及びアベレージがすべて表記されています。

TCには、TCゾーンの開始を示す黄色の時計看板と、TCの場所を示す赤い時計の看板があります。

自分が到着する時刻の1分前までは黄色看板を越えてはならないので、黄色看板の前で待機します。

1分前を過ぎたら車をTC看板付近まで進めて待機します。エントラントには事前に、1ステージ分のTC到着時刻を記入するタイムカードが配布されており、ナビゲーターは、到着時刻になったらタイムカードをTCのオフィシャルに渡し、時刻を記入してもらいます。

タイムカードを渡した時刻がTC通過時刻となります。なお、黄色看板を越えた地点から、窓拭きや空気圧調整など一切の車両整備行為は禁止となります。

### ※TCラリー補足

国内ラリーの場合はSSのゴール地点から、ゴールタイムの次分00秒を起点として、次のTCまで時間走行を行うケースが多い。

国際ラリーの場合は、SSスタートを起点として、SSフィニッシュを含み次のTCまで時間走行としている。

SSでストップしたりすると、次のTCまでの時間がどんどん少なくなります。

### SS(スペシャルステージ)

早いもの勝ち区間であるが、看板がCPラリーと異なります。SSのゴール前に一度黄色のチェッカーフラッグが予告看板としてあり、その後赤いチェッカーフラッグ看板がフライングフィニッシュ(ゴール)の地点となります。その先にストップコントロールがあり、そこでタイムカードを渡して、フライングフィニッシュの通過時刻を記入してもらいます。

スタートして約25メートル先と、ストップコントロールの約25メートル先に、黄色地に斜線が引かれた看板があり、その間は停車禁止となります。

### リグループ

リタイアした車があると、その分時間の間隔があいてしまうので、その時間を詰めて競技車を等間隔で走らせるために、競技車を整列し直すエリアのこと。

TCと同じ処理でエリアへのイン・アウトを行います。競技車によってエリアに留まる時間が異なったり、時間が0になる場合もあります。15分を越えるリグループの場合は、クルーは一度エリア外に出なければなりません。

また車両整備行為は禁止(パルクフェルメ)です。

### アイテナリー(Itinerary)

その日にどこからスタートしてどのSSをいくつ、何キロ走る、SSまでの距離は何キロといった、ラリーの全体の構成を箇条書きに記した表で、1号車の予定時間と共に表されます。

### パルクフェルメ

ゴール後に主催者による車両保管となる場所やその状態のこと。定められたオフィシャル以外は車に触ることができない。



## ■おまけー操作ミスをしてしまった場合

### 『ボタンを間違えた場合』

基本的にはCP、PC、Fを伴うボタン操作は、ボタンを押した直後であればすべてFでキャンセルできます。  
ただし、MAPはキャンセルできません。間違えて MAP を押してしまった場合は、MP ボタン(9)で表示される距離を控えて、現在走行中の距離に足してください。

### 『CP地点でPCを押してしまった場合』

押した地点を通り過ぎていることがほとんどなので、キャンセルせずに、CPからのアベを入力した後F1でスタートタイムをチェックカードの時刻に入力しなおしてください。  
余裕があれば、CP 地点から次のコマ図でPC処理をし、CP-PC間の距離をLTボタンで確認してください。  
その距離から所要時間を計算してチェックカードの時刻に加え、STボタンの表示時刻と比べて誤差がないか確認をするとよいでしょう。

### 『PC地点でCPを押してしまった場合』

その地点を通り過ぎているならば、点減している時刻とファイナルをメモし、点減時刻+ファイナル(遅れているならマイナス)で正解時刻を算出し、スタートタイムとして入力、ENT → アベを入力、ENTでリカバリーすることができます。

## ■保証とアフターサービス

### ●保証書

この商品には保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたします。記入、及び記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書の再発行はいたしません。ご注意下さい。

### ●保証期間

お買い求めの日より6カ月間です。

### ●万一故障が発生した場合

保証期間中、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づき無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃、送料等はおお客様のご負担となります。

お買い求めの販売店、または販売元 Faith Craft にご相談下さい。

### ●保証期間経過後の修理について

修理により性能の維持が可能な場合、お客様のご要望により、有料にて修理いたします。

お買い求めの販売店、または販売元 Faith Craft にご相談下さい。

### ●その他

アフターサービスの詳細、その他ご不明な点はお買い求めの販売店、または販売元 Faith Craft までご相談下さい。

## ■製品仕様

電 源 電 圧 … 6V～15V(DC)

消 費 電 流 … 最大2A

動作周囲温度 … -10℃～50℃

時 計 精 度 … 月差±20 秒以内(25℃において)

外 形 寸 法 … W 217 × H 107 × D 31(mm)

重 量 … 約 730g

### 販売元: Faith Craft

〒309-1705 茨城県笠間市東平 4-7-50

URL: <http://www.faith-craft.com/>

### お問い合わせは下記へ

TEL: 0296-78-5260

E-Mail: [ishi@faith-craft.com](mailto:ishi@faith-craft.com)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL:
シリアル番号	

お客様へ…上記表をご記入されておくと問い合わせ時に便利です。